

【2024年度 社会貢献基金事業 活動報告③】

使用済み保冷剤の再利用を通じた環境意識の向上

担当教員：経済学部 准教授 西崎 勝彦

実施期間：2024年7月1日～2025年1月31日

<概要および成果>

本学経済学部の学生と桃山学院中高生（以下、桃中高生）が協業して、使用済み保冷剤の再利用および水圏教育活動を実施しました。活動を進める中で、単に再利用の方法を提案するだけでなく、手軽に実践できて、かつ日常生活で利用できるようなものに再利用しようという考えが出されました。使用済み保冷剤の再利用に関する取り組みや桃中高生が「桃山 GoGreenProject」として取り組んでいる水圏教育活動の一端を桃山祭で紹介し、子どもから大人まで環境問題について考えてもらうキッカケ作りも行いました。

桃山祭では、水圏教育活動の展示に興味を持ってもらおうと、使用済みチョークから新しいチョークを作成するワークショップを開催しました。結果として、参加する子どもたちに再利用の面白さを感じてもらって環境意識を高めてもらうと同時に、親御様にも展示内容を見てもらって環境保全活動への理解を深めてもらうことができました。

これらを通じて、参加した本学学生および桃中高生の環境保全活動への意識が啓発されたと実感できる活動となりました。

<参加学生のコメント（抜粋）>

「これまで使用済みの保冷剤に意識を向けることなく、とりあえず冷蔵庫に入れて溜まっては捨てるを繰り返していたが、今回の活動を通して保冷剤の中身が環境に与える影響や使い方の応用を知り、もっと手軽に再利用できないか考えるようになった。」（経済学部3年生）

「普段の学習では全く触れないような環境を意識した活動に触れることができ、刺激を受けることができた。特に、高校生が私たち向けに環境や保冷剤について説明してもらった際に、環境への意識の高さや知識の多さに感心し、私たちも勉強しなければならないと思った。」（経済学部3年生）

<活動の様子>

